

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	2022年から新職員体制になっている。チームワーク・連携を強化したい。	その場その場に応じた業務の優先順位や内容・担当すべき役割を職員個々が考える事ができる。またそれを互いに伝え合い、ひとつのチームとして協働できる。	役職者は年2回の個人面談を通して声を聞く場を設け、日頃からチーム皆で個々の役割や実施スケジュール等のアドバイスをし合う。チーム会議では欠席者も事前に意見を出し、職員全員が発言できるよう進行する。	12 ヶ月
2	2	コロナ禍で感染対策を重視するなか、希薄となっていた地域とのつながりについて、少しずつ緩和していき、入居者が地域の一員として暮らし続けられるようにする。	事業所・入居者が地域の一員として日常的に交流できる。	ボランティアや実習生を積極的に受け入れたり、地域の子どもたちと交流を持つ。町内の催しへの参加に加え、廃品回収の手伝いや子ども達の下校時の旗ふりなど、更なる地域貢献、交流の場を持つ。職員は地域や学校での認知症啓発活動やボランティア活動を行う。	12 ヶ月
3	37	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につける。	作成したBCPやマニュアルに沿った避難方法を、全職員が身につける。	災害時にライフラインが途絶えた事を想定し、エレベーターが使えない状況での生活やケアの在り方、備蓄場所、備蓄内容等の検証を行い、マニュアルの見直しとBCPの作成に活かす。また実際にそれらに沿って訓練を実施する。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月